

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム
(Local Action Plan Supporting System)

操作勉強会（中級編）

2025年 6月
株式会社 野村総合研究所

アジェンダ

プログラム	時間	資料該当ページ
開会、勉強会の趣旨等説明	5分	P2～4
LAPSSの機能紹介	25分	P5～24（事務事業編） P25～30（区域施策編）
LAPSSの操作概要説明	30分	P31～33
LAPSSにおける活動項目及び 排出係数の運用変更に係る説明	20分	別添資料参照
アンケートへのご協力をお願い	5分	-
質疑応答	20分	P34～40（よくあるご質問）
計 105分（予定）		

本勉強会に関する注意事項

- 本日はLAPSSの操作勉強会（中級編）にご参加いただきありがとうございます。勉強会に先立ち事前に以下の注意事項をご確認ください。
- 本勉強会の資料は、参加登録いただいたご担当者様宛にお送りしたメールにて事前共有しております。必要に応じてお手元のPCにも資料をご用意の上、ご参加ください。
- また、事務局の説明に合わせて、お手元でLAPSSを操作していただくことで理解が深まるかと存じます。ご用意できる方は是非LAPSSを操作いただける状態でご参加いただけますと幸いです。
- なお、本勉強会の内容は後日環境省HPにて動画での配信を予定しております。適宜ご活用ください。

https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

- 本勉強会の最後に、参加者の皆様からのご質問をお受けする質疑応答の時間を設けております。ご質問がある場合は、配信画面内にある「Q&A」欄に質問内容を入力の上、送信してください。お寄せいただいたご質問の中から、事務局より適宜ご回答いたします。なお、当日の進行状況等の理由により、すべてのご質問にはお答えできない可能性がありますので、予めご了承ください。お答えできなかったご質問については、後日LAPSS掲示板にてご回答させていただきます。なお、**本日の質疑応答の内容については、後日環境省HPにて掲載いたします。**適宜ご活用ください。

本勉強会の趣旨説明

- 環境省では、地方公共団体実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定、温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を目的とした『**地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS（ラップス）」**』を開発しています。
- LAPSSは、地方公共団体の職員の皆様のご負担（地方公共団体実行計画の策定、進捗管理の効率化等）を軽減していくことを目的としております。

本勉強会では、

- 既にLAPSSの利用登録をいただいている地方公共団体の職員の皆様におかれましては、LAPSS のさらなる積極的な利用・活用促進を図っていただく
- 新たにご登録いただいた地方公共団体の職員の皆様におかれましては、今後の利用・活用に活かしていただく

ために、LAPSSの機能のうち、より多くの団体にご活用いただいている機能や本格利用後にご活用いただきたい機能について、ご説明させていただきます。

- 本勉強会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSSを使用している中での悩みやご要望等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本勉強会は、環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官室から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

本勉強会の位置付け

- 本勉強会では、既にLAPSSをご利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、**より発展的なLAPSSの機能のご紹介**をさせていただきます。
- 5月に開催した、基本的な機能のご説明に特化した「操作勉強会（初級編）」とあわせて、**ステップを踏んでLAPSSの使い方をマスター**していただけます。
- また、主にLAPSSをまだ利用されていない団体の皆様を対象に、LAPSSのより基本的な機能についてご説明する、新規利用団体向け説明会の開催も予定しております。
こちらの説明会には、既にLAPSSのアカウントをお持ちの皆様も参加可能でございます。

新規利用団体向け説明会
【令和6年9月開催済、
令和7年10月頃開催予定】

- LAPSSの利用をご予定・ご検討いただいている地方公共団体の職員の皆様を対象に、LAPSS利用のメリットや主要な機能、利用事例のご紹介、LAPSS導入までの流れについてご説明いたします。

操作勉強会（初級編）
【5月開催済】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSの機能を最低限把握しておきたいという方々を対象に、本格利用後にご活用いただきたいLAPSSの基本的な機能の紹介・操作デモを行います。

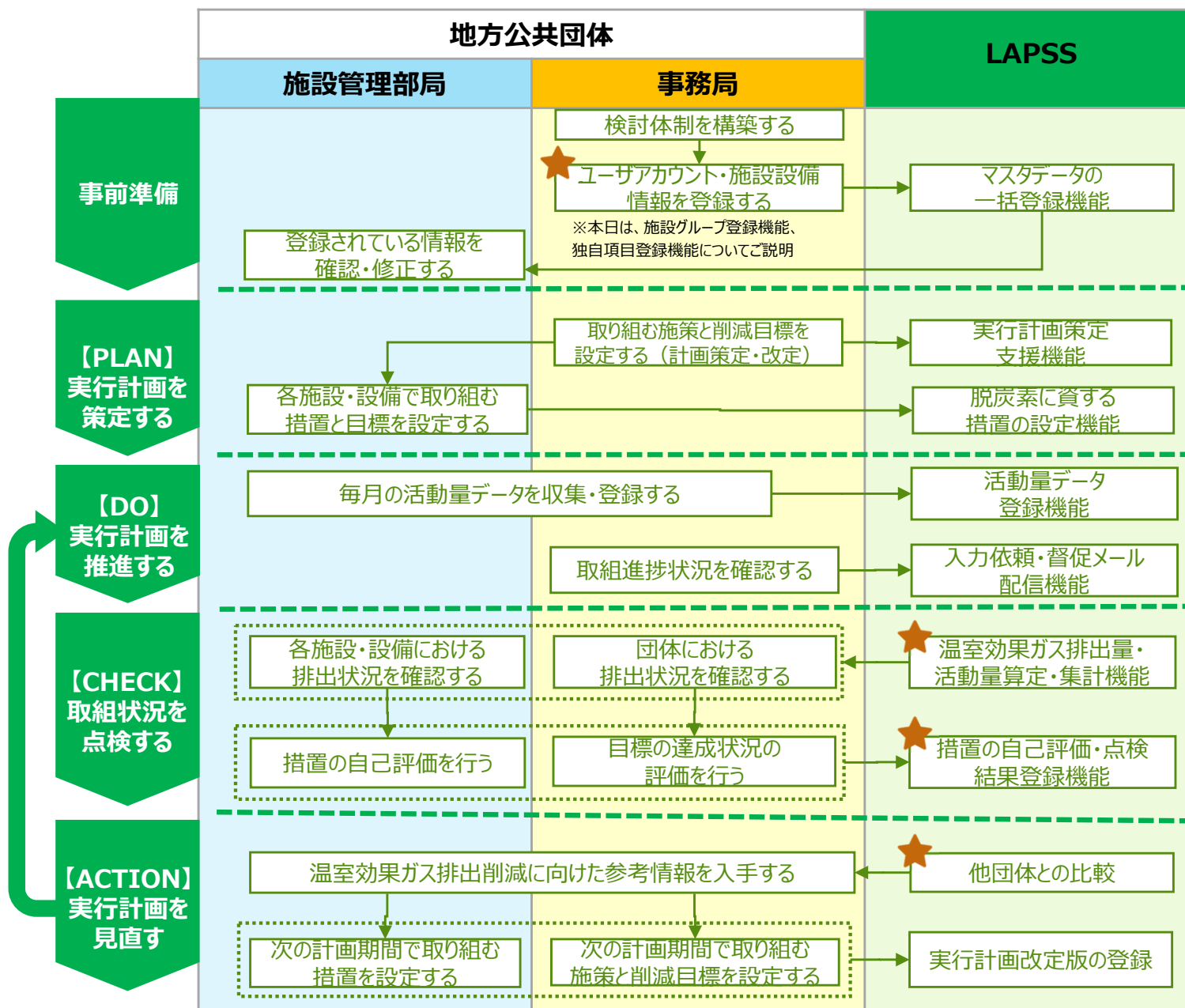
操作勉強会（中級編）
【6月開催】

- 既にLAPSSを利用いただいている地方公共団体の職員の皆様のうち、LAPSSを使いこなしたいという方々を対象に、より発展的なLAPSSの機能の紹介・操作デモを行います。

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム (LAPSS) 機能のご紹介

実行計画（事務事業編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



★ : 今回重点的にご紹介する機能

- 事務局：各地方公共団体において実行計画を所管する部局
- 施設管理局：主にLAPSSへのデータ入力を担当する部局

LAPSSの機能一覧（事務事業編） ※2025年6月時点



：今回重点的にご説明する機能

マスタデータの一括登録機能

- ✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録

実行計画策定支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能

脱炭素に資する措置の設定機能

- ✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定
→措置分類、削減目標、導入費用等を管理

活動量データ登録機能

- ✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録
※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能

他団体比較機能

- ✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能

排出量・活動量算定・集計機能

- ✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能
- ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能
- ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
- ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能

措置の自己評価・点検結果登録機能

- ✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施

入力依頼・督促メール配信機能

- ✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信

掲示板閲覧・投稿機能

- ✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能

2025年3月に更新された主な機能

利用団体の皆様からのご意見をもとに、以下の機能を更新いたしました。

マスタデータの 一括登録機能

- ✓ マスタデータ一括登録ツールで数式が利用可能に（初級編資料ご参照）

脱炭素に資する 措置の設定機能

- ✓ 部局・課室権限でも部局・課室・施設の削減目標を設定可能に（初級編資料ご参照）

活動量データ 登録機能

- 【個別登録】
- ✓ 表示する施設の並べ替え・選択が可能に（P9ご参照）
- ✓ 実績値の確定・確定解除を一括して実施可能に（P9ご参照）
- ✓ 総量項目の自動計算が可能に（P12ご参照）
- 【一括登録】
- ✓ 実績値一括登録ツールで数式が利用可能に（P10ご参照）
- ✓ 施設管理部局権限でも実績値一括登録ツールが利用可能に（P10ご参照）

排出量・活動量 算定・集計機能

- ✓ 部局・課室権限でも関連制度別集計が可能に（P18ご参照）

LAPSSの機能概要（事務事業編）

4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

◆ 活動量データの管理における課題



報告された活動量データの管理や精査に手間がかかる

施設管理者が施設毎の活動量データをブラウザから入力することが可能です。
異常値（桁間違い等）を自動でチェックする機能もあるので、誤入力を防止します。

対象となる施設を検索

*** 2025年3月より、表示順の並び替え（部局名順、施設分類順、施設名順）、および表示する施設の選択が可能になりました。**

入力対象月を選択

入力対象月の活動量を「当年度値」の欄に入力

実績値の入力を行う施設・設備の、各月のマーク（○）をクリック

「ステータスを更新」をクリックすると、実績値の「入力中」「入力完了」のステータスを一括して変更可能
*** 2025年3月より実施可能になりました。**

ステータスを更新したい対象月とステータスを選択し、「更新」をクリック

ステータス更新

ステータスを更新する月と更新後のステータスを選択してください。

対象月 4月 ☐ 5月 ☐ 6月 ☐ 7月 ☐ 8月 ☐ 9月 ☐ 10月 ☐ 11月 ☐ 12月 ☐ 1月 ☐ 2月 ☐ 3月

更新後のステータス ☐ 入力中（一時保存状態） ☐ 入力完了（実績値確定状態）

団体名: システム管理用 下水部 下水道第二課テスト ユーザー ログアウト

年度: 2020

対象施設名: test

入力期間: 5月

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額 (円)	コメント	前月 (4月)	当年度値	金額 (円)
燃料の使用 (液体燃料)	ガソリン (揮発油)	L	-				-		
燃料の使用 (液体燃料)	ガソリン 自動車での使用	L	-				-		
燃料の使用 (液体燃料)	ガソリン 自動車以外での使用	L	-				-		

New!

4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

活動量データの一括登録機能もありますので、施設の活動量データを一括で登録することも可能です（専用Excelツール(VBA)を利用）。

2025年3月より、施設管理部局権限でも一括登録ツールをご利用いただけるようになりました。また、Excel上で数式を入力できるようになりました。

【実績値の一括登録】

実績値一括登録機能の詳しい操作手順は、トップ画面の「操作でお困りの方はこちら（操作手順書、問い合わせ先等）」をクリックし、さらに「実績値一括登録機能」をクリックしてご確認ください。

https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/record_entry_manual.pdf



地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム ヘルプ

- ユーザーズガイド【事務局編】【施設管理部局編】

利用者向け簡易版操作ガイドです。

- ユーザーズガイド（区域施策編）

区域施策編の利用者(事務局)向け簡易版操作ガイドです。

- システム操作手順書（事務事業編）

システムの事務事業編(都道府県・市区町村・地方公共団体の組合用)の操作手順書(詳細版)です。管理者を含む全ての機能に関する操作手順を知ることができます。

一括登録機能は下記資料からも操作手順を確認することができます。

[マスター一括登録機能](#)

[実績値一括登録機能](#)

LAPSSの機能概要（事務事業編）

4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部門

活動量データの登録機能においては、**団体独自の活動項目と排出係数を設定**することが可能です。

独自項目 登録

対象制度の独自項目、排出係数を登録します。
本画面で独自項目を登録後、他制度の関連制度別排出係数設定画面を開くと、本画面で登録した独自項目の行に「当制度へ登録」ボタンが表示されます。押下することで他制度の排出係数を登録することができます。

必須な項目を入力してください。

独自項目分類 燃料の使用（固体燃料）

独自項目名称 **必須**

独自項目名称を入力

単位 **必須**

単位名称を選択

集計分類 **必須**

集計分類を選択

表示順 **必須**

表示順を入力

(整数を入力 ※入力例:10)

総数項目フラグ **任意**

☐

親項目 **必須**

親項目を選択

対象制度 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

年度 2025

排出係数 CO2(tCO2)

CH4(tCO2)

N2O(tCO2)

HFC(tCO2)

PFC(tCO2)

SF6(tCO2)

一覧に戻る

登録

自団体の独自項目の名称や活動量の単位、排出係数等を登録することで、当該項目について活動量データを登録可能

New!

4. 【DO】活動量データの登録機能

事務局

施設管理部局

一部のエネルギー種別（ガソリン、灯油等）では、それぞれの使用目的に応じた活動項目（「自動車での使用」「家庭用機器での使用」等、以下「内数項目」）と、エネルギー種別ごとの使用量を合算した活動項目（「ガソリン」「灯油」等、以下「総量項目」）が存在しております。

2025年3月より、内数項目に入力した活動量・金額を自動で合算し、総量項目に入力することが可能になりました。

月別実績値 入力

年度 2024

対象施設名 施設名0193

入力期間 3 月 選択

【電力会社のメニュー名称、都市ガス事業者の項目名称について】
電力会社のメニュー名称及び都市ガス事業者の項目名称は最新年度の名称で表示されています。
電力会社のメニュー名称の推移は[こちら](#)から、都市ガス事業者の項目名称は[こちら](#)からご確認ください。
また、過去年度の実績値を入力する際は対象の項目に排出係数が存在するか事前にご確認
排出係数はメニューから「活動量・排出量算定に関する設定」>「排出係数を参照・設定」

【不要な入力項目について】
各施設に対して不要な入力項目が表示されている場合、施設・設備の設定から非表示にする
詳しくは、『システム操作手順書（事務事業編）』の「3-3-2. 施設別の入力項目設定」を

内数項目に活動量を入力した状態で、「内数を合計」をクリック
（金額についても、同様の手順で合計可能）

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額（円）	コメント
燃料の使用（液体燃料）	灯油	L	-			
				内数を合計	内数を合計	
燃料の使用（液体燃料）	: 灯油 家庭用機器での使用	L	-	100		
燃料の使用（液体燃料）	: 灯油 ディーゼル機関（自動車、鉄道車両又は船舶に用いられるものを除く。）での使用	L	-	200		

月別実績値 入力

年度 2024

対象施設名 施設名0193

入力期間 3 月 選択

【電力会社のメニュー名称、都市ガス事業者の項目名称について】
電力会社のメニュー名称及び都市ガス事業者の項目名称は最新年度の名称で表示されています。
電力会社のメニュー名称の推移は[こちら](#)から、都市ガス事業者の項目名称は[こちら](#)からご確認ください。
また、過去年度の実績値を入力する際は対象の項目に排出係数が存在するか事前にご確認
排出係数はメニューから「活動量・排出量算定に関する設定」>「排出係数を参照・設定」

【不要な入力項目について】
各施設に対して不要な入力項目が表示されている場合、施設・設備の設定から非表示にする
詳しくは、『システム操作手順書（事務事業編）』の「3-3-2. 施設別の入力項目設定」を

内数項目の活動量を合算した値が、総量項目に自動入力される

項目分類	項目名	単位	前年度値	当年度値	金額（円）	コメント
燃料の使用（液体燃料）	ジェット燃料油	L	-			
燃料の使用（液体燃料）	灯油	L	-	300		
				内数を合計	内数を合計	
燃料の使用（液体燃料）	: 灯油 家庭用機器での使用	L	-	100		
燃料の使用（液体燃料）	: 灯油 ディーゼル機関（自動車、鉄道車両又は船舶に用いられるものを除く。）での使用	L	-	200		

LAPSSの機能概要（事務事業編）

★ 6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部局

◆ 排出量の算定・集計における課題

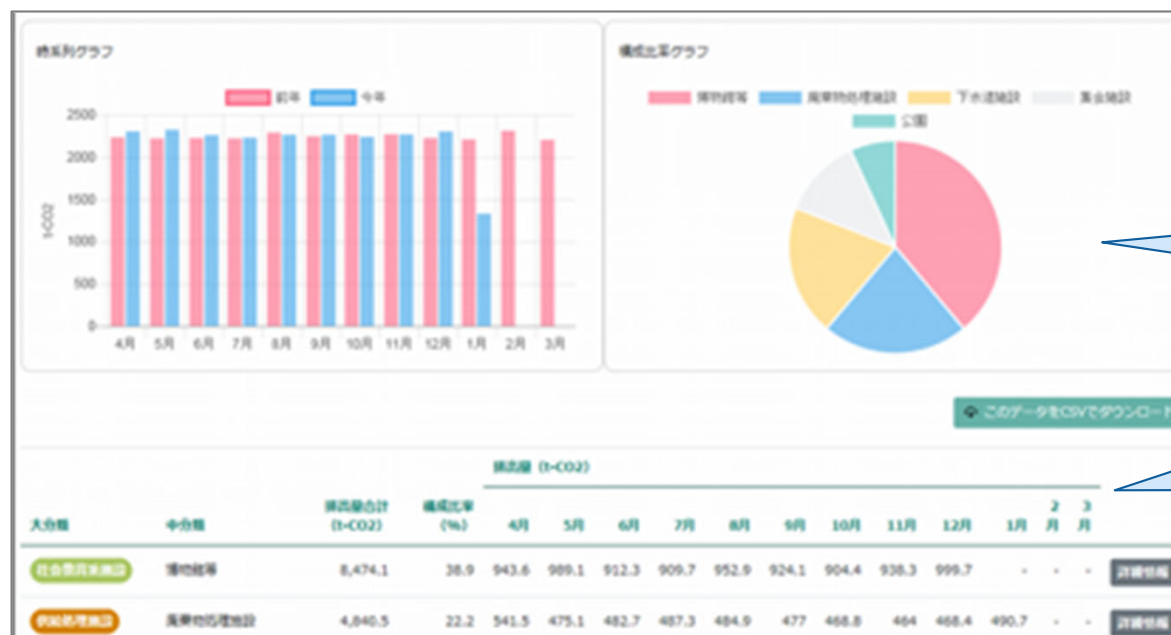


温室効果ガス排出量の算定・集計に手間がかかる
電気事業者等の排出係数が毎年変わるため、管理が手間

条件（集計範囲、温室効果ガスの種類、集計方法）を組み合わせた集計・出力が可能であり、**排出量の推移・内訳が見える化**することができます。

排出係数は**LAPSSが標準装備**しており、**更新作業は不要（LAPSS側で自動更新）**です。

基礎排出係数のほか、温対法・省エネ法等各種報告に必要な調整後排出係数もご利用いただけます。



排出量の推移、内訳（構成比率）を
グラフ表示し、分析を容易に行うことができ、
集計に掛かる工数を大幅に削減できます。

排出量の算定に必要な**排出係数**は
LAPSSが標準装備しています。
毎年の排出係数の更新は必要ありません。

LAPSSの機能概要（事務事業編）

★ 6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部局

排出量算定・集計機能においては、**団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較**することが可能です。

団体内 施設別 年間削減量比較

集計年度 2021 年度
温室効果ガス 総排出量 (t-CO2)
集計方法 施設分類別
大分類 スポーツ・レクリエーション系施設
中分類 観光・レクリエーション施設

「措置・点検」ボタンをクリックすると、施設ごとに取り組んでいる措置情報と点検情報を表示する「措置点検結果の入力」画面へと遷移

前年度比削減率が大い順での表示

施設別の集計比較（同様に部局別、課室別も可能）

このデータでダウンロード

施設名	部局名	課室	総排出量 (t-CO2)	原単位分母		原単位 (t-CO2/m2)	原単位の対前年度比 (%)	措置・点検
				延べ床面積 (m2)	概算値			
海洋館	建設部	港湾課	8,442,868.211	1,660.11	-	5,085.72818	15,417,441.01	措置・点検
展望塔	建設部	港湾課	8,121,112.403	2,344	-	3,464.6384	23,552,636.16	措置・点検
中央センター	建設部	港湾課	7,155,844.981	1,502.2	-	4,763.57674	62,356,006.491	措置・点検
海洋公園	建設部	港湾課	8,764,624.018	300	-	29,215.41339	123,405,414.924	措置・点検
防波堤	建設部	港湾課	9,086,379.826	300	-	30,287.93275	172,107,509.58	措置・点検
国際キャンプ場	産業部	農政課	7,477,600.788	339.48	-	22,026.63128	176,394,037.581	措置・点検
交流広場	産業部	農政課	7,799,356.596	599.56	-	13,008.4672	211,359,865.949	措置・点検

LAPSSの機能概要（事務事業編）

★ 6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

排出量算定・集計機能においては、**部局/課室/施設別だけでなく、任意の施設グループを設定することで、施設グループ別に集計することが可能**です。

施設グループの設定

施設グループ 登録

必須な項目を入力してください。

施設グループ名称 **必須**

施設グループ名称を入力

備考 **任意**

備考を入力

登録

活動量や温室効果ガス排出量を
任意のグループごとに集計したい場合、
施設グループを登録

施設情報 変更・削除

必須な項目を入力してください。

施設名 **必須**

施設名0430

施設分類（大分類） **必須**

供給処理施設

施設分類（中分類） **必須**

廃棄物処理施設

施設管理課室 **必須**

デジタル局 LAPSS課

変更

関連施設管理課室 **任意**

部局を選択

課室を選択

関連施設管理課室を追加

施設グループ **?** **任意**

施設グループを選択

施設ごとに
登録した**施設グループを設定**

集計

排出量データ 集計（年度別）

対象制度

地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

実行計画

第5期地球温暖化対策実行計画

温室効果ガス

☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6

集計方法

☐ 施設分類別 ☐ 担当部局別 ☐ 項目分類別 ☒ **施設グループ別**

分類

Aグループ

集計

集計方法を「施設グループ別」に設定
することで、
グループごとの集計結果を表示可能

★ 6. 【CHECK】排出量算定・集計機能

事務局

施設管理部門

排出量算定・集計機能においては、**温室効果ガス排出量のみならず活動量データについても、集計・グラフ表示・帳票出力が可能**です。

活動量データ 集計（月次）

対象制度 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

集計年度 2020 年度

集計範囲 ☒ 全ての施設 ☐ 自部署が管理する施設のみ ☐ 自部署に関連する権限施設も含む ☐ 施設グループ

施設グループ分類 5 項目選択中

集計項目 ガソリン 単位：L

集計項目の選択には、集計可能な項目（※）のみ表示されます。
※集計される活動項目の単位が全て揃っている項目
システムで管理している集計項目はこちらを参照

温室効果ガス ☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6

集計方法 ☒ 施設分類別 ☐ 担当部署別 ☐ 施設グループ別 ?

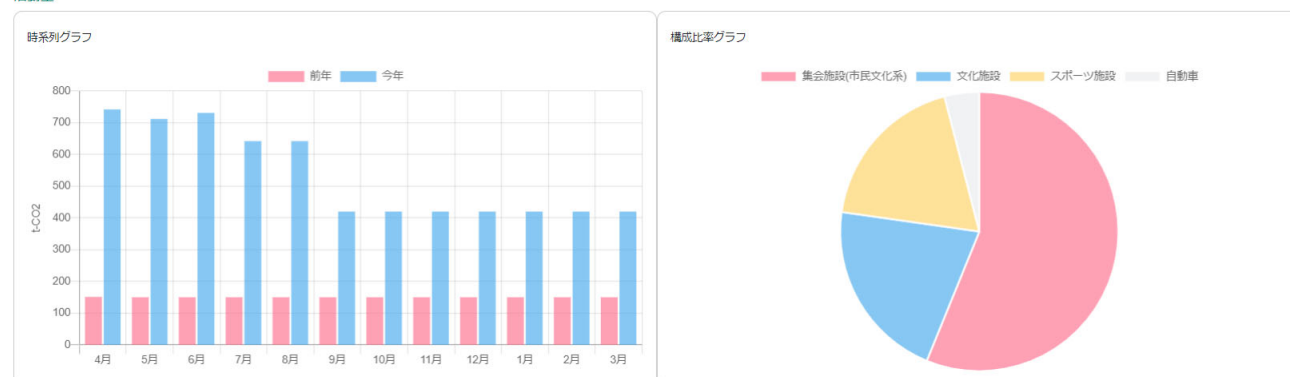
施設グループ分類 5 項目選択中

集計

(活動量と排出量の集計仕様はこちらを参照)

集計条件（対象制度、集計年度、集計範囲、集計方法等）を設定

活動量



活動量の時系列グラフや構成比率グラフを表示

LAPSSの機能概要（事務事業編）

New!

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

施設管理部局

◆ 関連制度の排出量算定における課題



省エネ法・温対法など、関連する法制度の温室効果ガス算定に係る作業負荷が大きい

省エネ法・温対法報告などに応じた排出量の算定が可能です。

2025年3月より、部局・課室権限でも関連制度別に集計することが可能になりました。

関連制度別排出量算定

対象制度 必須 地方公共団体実行計画（事務事業編）

対象年度 必須 2018 年度

温室効果ガス 必須 ☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6 ☐ NF3

表示

このデータをCSVでダウンロード

施設分類（大分類）	施設名	温室効果ガス排出量（t-CO2）												年度合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
市民文化系施設	〇〇区民ホール	252	246.4	242.48	245.56	248.64	279.72	282.8	283.08	283.36	282.8	-	-	2,646.84
社会教育系施設	〇〇環境未来館	943.6	989.13	912.26	909.68	952.88	924.06	904.39	938.32	999.75	-	-	-	8,474.07

「事務事業編」のほか、「省エネ法」、「温対法（算定・報告・公表制度）」等を指定可能です。

関連制度で必要となる温室効果ガス排出量を算定できます。
これにより類似する法制度の排出量算定の工数が大幅に削減できます。

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

2023年5月より、**省エネ法・温対法・フロン法の同時報告、及び、温室効果ガス排出に関する情報の統合管理を可能とする新システム「省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム（EEGS）」に、LAPSSとのデータ連携機能が搭載**されています。（※EEGS側での操作となり、LAPSS側での操作は不要）

地方公共団体が省エネ法・温対法の報告を行う場合は、LAPSSに入力したエネルギー使用量や活動量の情報をEEGS連携することで、類似データの重複入力を避け、団体職員の報告に係る事務負担を軽減できます。

※操作方法詳細は「省エネ法・温対法・フロン法 電子報告システム操作マニュアル（温対法編）」p34

「2.6. LAPSS からのエネルギー使用量の取り込み」を参照ください。

<https://s3-prd-step5-eegs-portal.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/manual/%E6%93%8D%E4%BD%9C%E3%83%9E%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%82%A2%E3%83%AB%E3%83%88%E6%B8%A9%E5%AF%BE%E6%B3%95%E7%B7%A8%E3%83%89.pdf#page=8>

EEGS
画面

EEGSにログイン後、事業者基本情報入力画面で、「地方公共団体ID」を地方公共団体IDを入力または編集します。

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

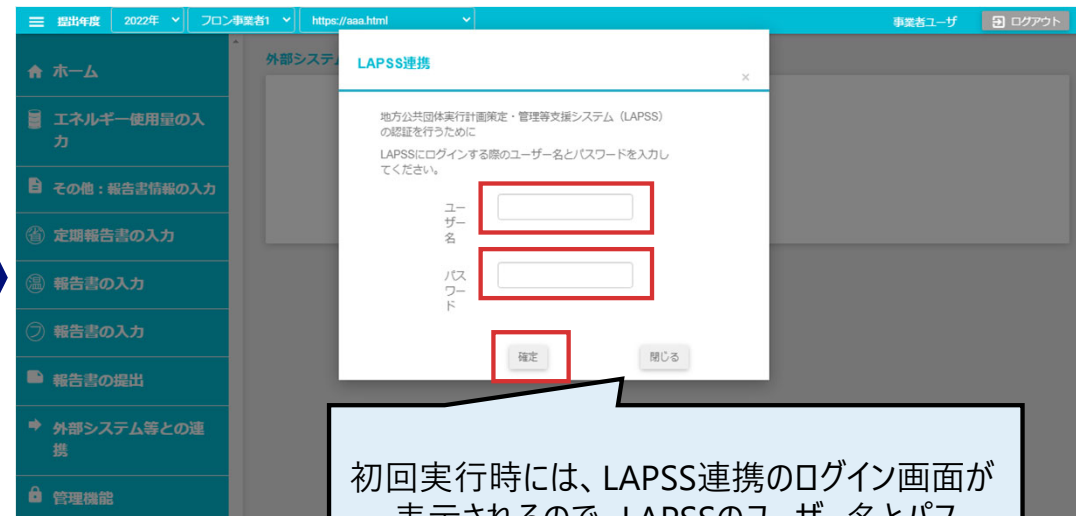
事務局

EEGSに登録されている事業所とLAPSSに登録されている施設の紐づけを行います。

EEGS
画面EEGS
画面

さらに「LAPSS連携」ボタンをクリックします。

EEGSホーム画面で「外部システム等との連携」メニューをクリック



初回実行時には、LAPSS連携のログイン画面が表示されるので、LAPSSのユーザー名とパスワードを入力し、「確定」ボタンをクリックします。

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

EEGSに登録されている事業所とLAPSSに登録されている施設の紐づけを行います。

EEGS
画面EEGS
画面

LAPSS連携

事業者情報

特定排出番号: [] 事業者名称: フロン事業者1

LAPSS施設連携

部署: 自然環境局, 地球環境局, 水・大気・環境局 課室: 自然環境計画課, 野生生物課

LAPSS施設取得

LAPSSからのデータ連携を行う施設を所管している部局・課室を選択（複数選択可能）し、「LAPSS施設取得」ボタンをクリックします。



LAPSS施設一覧

部署	施設名	EEGS事業所情報	事業所検索
部署1_課室1_テスト課室1	部署1_課室1_テスト施設1	事業所1000	事業所検索
	部署1_課室1_テスト施設2	事業所1000	事業所検索
	部署1_課室1_テスト施設3	事業所1000	事業所検索
	部署1_課室1_テスト施設4	(登録なし)	事業所検索
	部署1_課室1_テスト施設5	(登録なし)	事業所検索
部署1_課室2_テスト課室2	部署1_課室2_テスト施設1	(登録なし)	事業所検索
	部署1_課室2_テスト施設2	(登録なし)	事業所検索
	部署1_課室2_テスト施設3	(登録なし)	事業所検索
	部署1_課室2_テスト施設4	(登録なし)	事業所検索
	部署1_課室2_テスト施設5	(登録なし)	事業所検索
部署2_課室1_テスト課室1	部署2_課室1_テスト施設1	(登録なし)	事業所検索
	部署2_課室1_テスト施設2	(登録なし)	事業所検索
	部署2_課室1_テスト施設3	(登録なし)	事業所検索

LAPSSに登録されている施設のうち、自動的にEEGSの事業所と紐づけできたものはEEGSの事業所名称が表示されます。

EEGS事業所の検索ボタン

LAPSSに登録されている施設のうち、自動的にEEGSの事業所と紐づけできなかったものは「（登録なし）」と表示されます。

LAPSSに登録されている施設

★ 7. 【CHECK】関連制度報告に向けた排出量算定機能

事務局

EEGS
画面

未登録のEEGS事業所に紐づける場合、この「事業所登録」ボタンをクリックします。

登録済のEEGS事業所に紐づける場合、「編集」ボタン（鉛筆マーク）をクリックします。

EEGS
画面

クリックします。

LAPSS施設との紐づけを行うため、EEGS事業所情報画面で「LAPSS施設ID」と「LAPSS施設延べ床面積」を入力します。

なお、前頁に示したLAPSS施設一覧画面の下部にある「LAPSS施設一覧エクスポート」ボタンから、指定したLAPSS施設一覧をCSVファイルにエクスポートし、CSVファイルを編集後、そのファイルをアップロードしてLAPSS施設情報を一括登録することにより、**EEGS事業所との紐づけを一括で行うこともできます。**

事務局

LAPSSから選択した施設のエネルギー使用量の取り込みを行います。

EEGS
画面

ここを選択すると、一覧の施設全てにチェックを付ける、または解除することが出来ます。

選択しチェックを付けます。

クリックします。

EEGS
画面

エネルギー使用・報告書の入力

エネルギー使用・報告書を入力してください。

選択している事業所の1年度分のエネルギー使用量の報告した製造エネルギーの値を入力します。
 入力が必要入力。また単位に注意してください。数値は、小数点以下まで入力してください(四捨五入します。
 小数点の1の値は0で表示してください。また小数点の第2桁までは0で表示します。単位、入力数値の単位は必須です。
 エネルギーの値が多い場合は、ファイルからの読み込みを推奨いたします。読み込みファイルフォーマットはこちら
 標準省エネルギー対策を記載したエネルギー使用量は、必要に応じてエネルギー消費量の削減のための施策を入力してください。

[前年度のエネルギーの使用量を読み込み](#)
[ファイルを読み込み](#)
[確認されていません](#)
[ファイルから読み込み](#)

[エネルギーの使用量を確認する](#)

クリックします。

エネルギーの使用		削減した製造エネルギーの値		削減したエネルギーの値	
エネルギーの使用	削減した製造エネルギーの値	削減した製造エネルギーの値	削減した製造エネルギーの値	削減した製造エネルギーの値	削減した製造エネルギーの値
2021年度	2022年度	2021年度	2022年度	2021年度	2022年度

LAPSSの機能概要（事務事業編）

★ 8. 【CHECK】措置の自己評価・点検結果登録機能

事務局

施設管理部門

◆ 措置の自己評価・点検における課題



温室効果ガス削減措置を設定しているものの、評価や点検の管理ができていない

実行計画策定時に設定した各施設設備の措置についても、活動量・排出量の管理と同様に、**年度ごとに取組状況の点検と自己評価**を入力・管理することができます。

措置点検結果の入力

各措置の点検（確認と見直し）を行い、点検完了コメントを入力して登録してください。

実行計画	県庁地球温暖化対策実行計画 1
点検年度	2019
施設名	施設名0096
前年度排出量合計(A)(t-CO2)	22.829
当年度排出量合計(B)(t-CO2)	22.706
削減量(A)-(B)(t-CO2)	0.123
削減目標(t-CO2)	-
目標達成率(%)	-

No.	措置分類	措置	自己評価
1	温室効果ガスの排出の抑制等に関する屋外照明、信号機の使用状況 屋外照明、信号機	屋外照明のLED化率	4

総合評価 **必須** 記入例 屋外照明の80%をLED照明に更新した。

点検完了日 **必須** 2020/03/22

部署 **必須** ●●部

課室 **必須** ▲▲局

点検実施者 **必須** 飯田三郎

点検完了 ☒

[一覧に戻る](#) [登録](#)

措置ごとの自己評価と、総合評価を入力し、管理することができます。

LAPSSの機能概要（事務事業編）

★ 9. 【CHECK】他団体比較機能

事務局

施設管理部門

◆ 排出量削減措置の立案における課題



他団体で実施されている有効な措置の事例を参考にしたい

他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、**削減効果の高い団体の措置を参照**することができます。

対象制度 地方公共団体実行計画（事務事業編）（基礎排出係数）

集計年度 2019 年度

比較対象団体 都道府県 47 項目選択中

団体区分 10 項目選択中

地域特性・類型 地域特性・類型を選択

組合事務事業内容 ? 20 項目選択中

☐ さらに団体を絞り込む

温室効果ガス ☒ 総排出量 ☐ CO2 ☐ CH4 ☐ N2O ☐ HFC ☐ PFC ☐ SF6

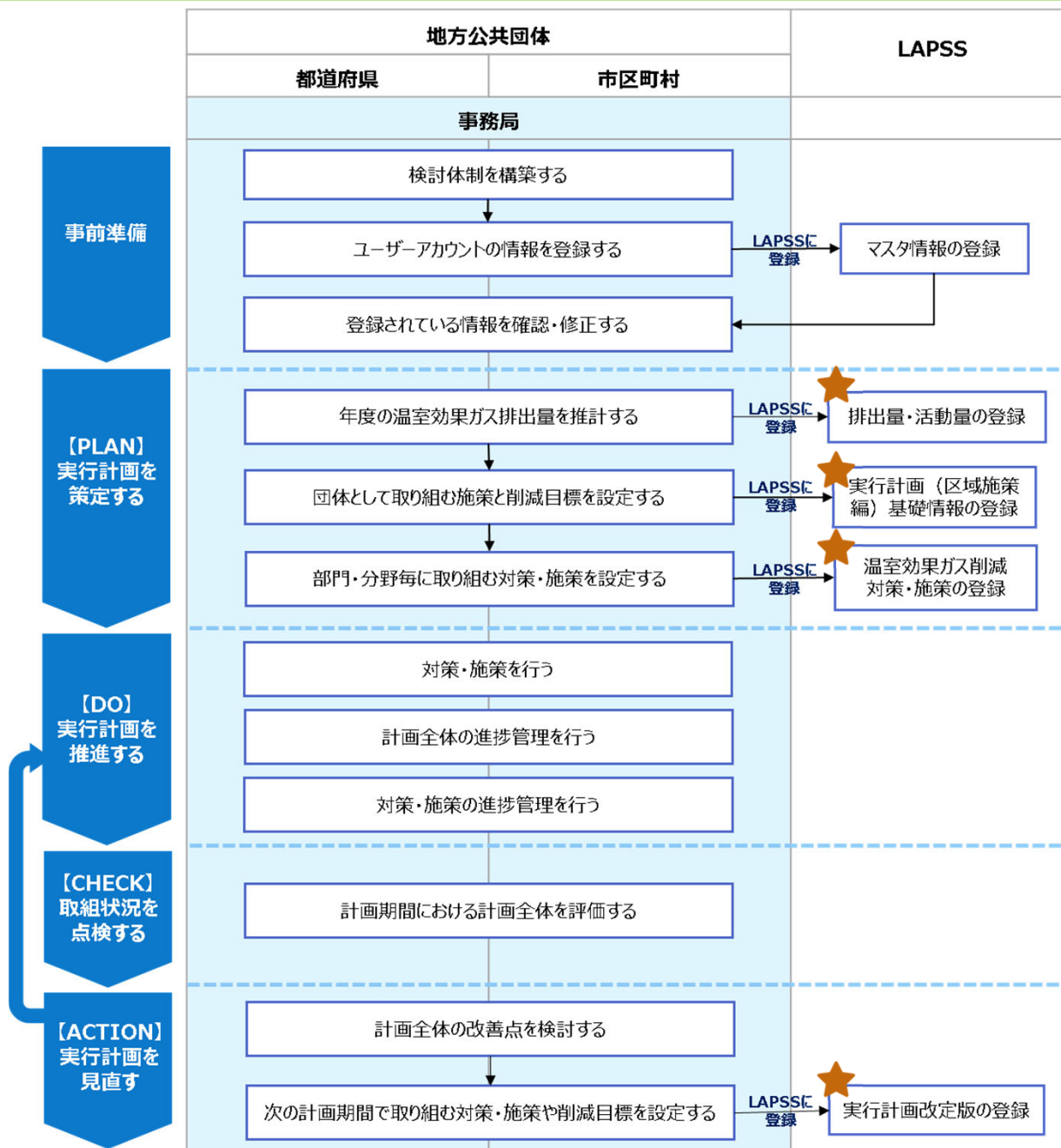
比較対象とする他団体を、**都道府県及び団体区分で指定**することができます。
特定の団体を指定することもできます。

原単位：延床面積当たりのCO2排出量

大分類	中分類	自団体		他団体					
		原単位 (t-CO2/m2)	原単位の対前年度比 (%)	原単位 (t-CO2/m2)			原単位の対前年度比 (%)		
				平均	ばらつき	標準偏差	平均	ばらつき	標準偏差
市民文化系施設	文化施設	0.06079	89.361	0.19724	0.419	0.647	178.1959	40,061.627	200.154
社会教育系施設	図書館	0.02587	76.601	0.02963	0	0.005	72.21074	57.834	7.605

他団体の**削減状況**（原単位における前年度比）と比較し、**他団体の取組を参照**することができます。
 これにより、**自団体の取組の振り返りや措置の立案に活用**できます。

実行計画（区域施策編）の策定・運用に係る業務とLAPSS機能



★ : 今回重点的にご紹介する機能



- ◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、**令和5年度から区域施策編にも対応**しました。



実行計画策定 支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用



地域脱炭素化促進事 業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理



温室効果ガス削減に 向けた対策・施策の 設定支援機能

- ✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能



排出量・活動量データ 管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとでの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

LAPSSの機能概要（区域施策編）

1. 実行計画策定支援機能

事務局

◆ 地方公共団体実行計画（区域施策編）の策定における課題



職員不足により、実行計画の策定に関する業務に十分な時間を割くことができない/業務負荷軽減のために計画の雛型が欲しい

実行計画基礎情報登録機能を活用すれば、フォーマットに沿って入力するだけで実行計画に関する**情報が登録可能**です。登録された情報は**帳票として出力**することもできます。

管理支援システム

団体名: システム管理用 下水道部 下水道課 テストユーザ事務局 ログアウト

実行計画（区域施策編）基礎情報 登録

入力内容が不明な場合はこちら

基本情報

必須な項目を入力してください。

実行計画名 **必須** 実行計画名を入力

策定・改定年月 **必須** 年を選択 年 月を選択 月

計画期間 **必須** 年を選択 年 月を選択 月 ~ 年を選択 年 月を選択 月

最終改定年度 **任意** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

基準年度温室効果ガス排出量 **必須** 例) 1000 t-CO₂

目標年度 **必須** 例) 2017 年度 (西暦)

目標年度温室効果ガス排出量 **必須** 例) 1000 t-CO₂

一覧に戻る

計画名称、計画期間、基準/目標年度、目標年度温室効果ガス排出量等を登録することができます。

フォーマットに沿って必要事項を入力した後、登録内容は帳票出力することができるため、**実行計画の策定に係る負担を軽減**できます。

そのまま公表いただける形で帳票出力可能です。

(2) 区域の特徴

以下に示す〇〇町の自然的・社会的条件を踏まえ、区域施策編に位置づけるべき施策の整理を行います。また、他の関係行政施策との整合を図りながら、地球温暖化対策に取り組むこととします。（以下は自然的・社会的条件の例示）

ア 地域の概要

〇〇町は、(地域の成り立ち、位置、面積など)となっています。

イ 気候概況

〇〇町周辺の気候は、xx(山間部、海沿い、平野部など土地条件を踏まえた特色等(日照時間、降雪量、寒暖差など)を記載)であり、また、長期間の気象観測データがある〇〇気象観測所の年平均気温の推移をみると、~という傾向が現れています。

ウ 人口と世帯数

〇〇町の人口は、国勢調査によると〇〇傾向にあり、xx年xx月xx日時点の人口はxx人、世帯数はxx世帯、年齢別ではxxのような特徴がみられます。

エ 地域の産業の動向

〇〇町の就業人口からわかるように、**基幹産業は〇〇業であり産業別付加価値額としてもxx円、このことから〇〇業が〇〇町の経済全体に及ぼす影響が大きいことが分かります。**

(3) 計画期間

〇〇町実行計画（区域施策編）の基準年度、目標年度、計画期間について、2013年度を基準年度とし、2030年度を目標年度とします。また、計画期間は、策定年度である2022年度の翌年である2023年度からの8年間とします。

LAPSSの機能概要（区域施策編）



2. 地域脱炭素化促進事業に関する事項

事務局

◆ 地域脱炭素化促進事業の管理における課題



情報管理が一元化されておらず、引き継ぎがうまくいかない

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項等を**登録・管理可能**です。

地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項（市区町村）登録

必要な項目を入力してください。

地域脱炭素化促進事業の目標 任意 ?	
促進区域（大分類） 必須 ?	促進区域を選択
地域脱炭素化促進施設の種別（中分類） 必須 ?	地域脱炭素化促進施設の種別を選択
地域脱炭素化促進施設の規模（小分類） 必須 ?	地域脱炭素化促進施設の規模を入力
促進区域（詳細情報） 任意 ?	
促進区域（地図） 任意 ?	選択されていません 参照
地域の脱炭素化のための取組 任意 ?	

* ファイル拡張子がjpg, jpeg, png, bmp, gif, zipのファイルを指定してください。
* ファイルサイズの上限は10MB以内となります

地域の環境の保全のための取組 任意 ? 一覧に戻る 登録

地域脱炭素化促進施設の目標、促進区域、地域脱炭素化促進施設の種別などの各情報を登録できます。



事務局

◆ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定における課題



温室効果ガスの排出削減のために取り組む対策について管理できていない

団体で実施している温室効果ガス削減に向けた対策・施策を、部門・分野ごとに設定することが可能です。部門・分野ごとに主要な対策・施策リストがあらかじめLAPSSに登録されているため、今後の対策・施策の検討に活用いただくことも可能です。

部門・分野に対する対策・施策一覧

部門・分野:
実行計画名:
実行計画の計画期間:

施策分類 | 施策項目

低炭素社会実行計画の着実な実施と評価・検証 | 低炭素エネルギー性能の高い設備・機器の導入促進（リビルド製造技術の導入）

対策・施策追加

施策分類 **必須** 施策分類を選択

施策項目 **必須** 先に「施策分類」を選択してください。

施策 **必須** 施策を入力

施策時期 **必須** 2023 年度 ~ 任意で設定 年度

指標 **任意** 指標を入力

目標 **任意** 目標を入力 目標の単位 **任意** 目標の単位を入力

具体的な内容 **任意** 具体的な内容を入力

初期費用 **任意** 円

運用費用 **任意** 円

補助金 **任意** 円

選択可能な施策項目についてはこちらを参照

対策・施策ごとに費用等の情報を設定

編集・削除

キャンセル

登録

対策・施策ごとに、実施時期・具体的内容・費用等の情報を設定できます。

LAPSSの機能概要（区域施策編）

★ 4. 排出量・活動量データ管理・集計機能

事務局

◆ 排出量・活動量データの算定・集計における課題



排出量・活動量データの管理や精査に手間がかかる

部門・分野別に推計した、年度の温室効果ガス排出量を、ガス種別毎に**登録・管理が可能**です。
また、推計に用いた活動量の実績値も併せて管理することが可能です。
登録された情報は**帳票として出力**することもできます。

ガス種別排出量の表示		ガス種類別の温室効果ガス（CO ₂ 、CH ₄ 、N ₂ O、HFCs、PFCs、SF ₆ 、NF ₃ ）ごとに設定可能		活動量1	更新
ガス種	部門・分野	合計	推計手法	前年度値	
エネルギー起源CO ₂	産業部門	500	t-CO ₂ 都道府県別按分	-	-
			t-CO ₂ 推計手法を選択	-	-
			t-CO ₂ 推計手法を選択	-	-
			t-CO ₂ 推計手法を選択	-	-
	業務その他部門	100	t-CO ₂ 都道府県別按分	-	-
	家庭部門	100	t-CO ₂ 都道府県別按分	-	-
	自動車（貨物）	200	t-CO ₂ 全国按分法【標】	-	-
			t-CO ₂ 推計手法を選択	-	-

推計手法についても選択可能

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等システム (LAPSS) 操作説明

※本日の操作勉強会では**LAPSSの実際の画面を投影しながら、操作をご説明**いたします。

※本日ご紹介した操作概要については、以下URL掲載の資料にも記載しております。あわせてご確認ください。

<https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/help.html>

事務事業編（事務局）：	ユーザーズガイド（事務局編）Ver2.6
事務事業編（施設管理部局）：	ユーザーズガイド（施設管理部局編）Ver3.5
区域施策編：	ユーザーズガイド（区域施策編）Ver1.2

LAPSSの機能一覧（事務事業編） ※2025年6月時点



：今回重点的にご説明する機能

マスタデータの一括登録機能

- ✓ 部局/課室/施設情報や施設の過去活動量データを専用Excelツール(VBA)を使用して一括登録

実行計画策定支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用も可能

脱炭素に資する措置の設定機能

- ✓ 脱炭素に資する措置を、施設・設備ごとに設定
→措置分類、削減目標、導入費用等を管理

活動量データ登録機能

- ✓ 施設・設備の活動項目について、施設管理者が毎月の活動量データ（実績値）を登録
※マスタデータ同様、実績値の一括登録も可能

他団体比較機能

- ✓ 他団体と削減量(原単位の対前年度比)を比較し、削減効果の高い団体の措置を参照可能

排出量・活動量算定・集計機能

- ✓ 排出量・活動量の推移・内訳について条件を組み合わせた集計が可能
- ✓ 施設・設備の排出量データを帳票として出力して活用も可能
- ✓ 省エネ法等の関連法制度の温室効果ガス総排出量の算定が可能
- ✓ 団体内の部局/課室/施設別の排出量および昨年度からの削減率を一覧表示し、比較することが可能

措置の自己評価・点検結果登録機能

- ✓ 各施設・設備の措置について、当年度の取組状況を点検し、自己評価を実施

入力依頼・督促メール配信機能

- ✓ 活動量データの入力依頼メールや督促メールを自動配信

掲示板閲覧・投稿機能

- ✓ 他団体の事務局との情報交換を目的とした団体間共通掲示板や、団体内の情報共有を目的とした団体内掲示板機能を利用可能



- ◆ LAPSSは、地方公共団体実行計画（事務事業編）における温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を主な目的としていますが、**令和5年度から区域施策編にも対応**しました。



実行計画策定 支援機能

- ✓ 策定に資する情報をフォーマットに沿って入力
- ✓ 登録された情報は帳票として出力して活用



地域脱炭素化促進事業に関する事項

- ✓ 促進事業の目標、促進区域の類型・ゾーニング情報、再エネ活用のため促進区域において整備する施設、地域の脱炭素化のための取組等の設定・管理



温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定支援機能

- ✓ 温室効果ガス削減に向けた対策・施策の設定のための参考情報を提供
- ✓ 設定した対策・施策の管理も可能



排出量・活動量データ 管理・集計機能

- ✓ 年度単位、部門・分野ごとでの排出量データ（推計値）や吸収量を登録し管理
- ✓ 排出量の推移・内訳を自動集計しグラフ化

LAPSS

質疑・応答

Q&A

問い合わせ窓口に多く寄せられる質問、前回までの操作勉強会で出た質問をとりまとめています。

● LAPSSへのログイン

Q：LAPSSにアクセスした際、「このサイトは安全ではありません」というセキュリティに関するエラーが表示される。

A：暗号化通信に必要な証明書がパソコンのブラウザにインストールされていない場合、このようなエラーが表示されることがあります。システムへの通信は暗号化されている（https通信されており、あらかじめパソコンのブラウザに証明書をインストールしておく）必要があります。インストールする証明書および手順に関して、貴団体の情報システム部門にお問い合わせください。

Q：新規に追加されたユーザーアカウントでLAPSSへ接続する際のID、PWは当初のものと一緒になりますか？

A：アカウントごとに固有のID（メールアドレスを利用）、PWを発行いたします。なお、同一メールアドレスを複数アカウントに利用することはできませんので、ご注意ください。

Q：パスワードの設定、再設定を行ったが、入力したメールアドレスにメールが送られない。

A：サーバーの状態によって、メールの受信にお時間を要する場合があります。また、団体のセキュリティ設定によりメールが受信できない場合もありますので、メールの受信設定等をご確認ください。また、システムに登録したメールアドレスに誤りがある可能性もあるため、改めてシステムに登録したメールアドレスに誤りがないかご確認ください。

Q：ユーザーアカウント情報、施設・設備情報を変更したい。

A：（ユーザーアカウント情報）「マスタ設定」の「ユーザーアカウントを設定する」画面から、変更したいアカウントの「編集・削除」ボタンをクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

（施設・設備情報）「マスタ設定」の「施設・設備を設定する」画面から、変更したい施設・設備の「設定・削除」ボタンをクリックし、さらに「変更・削除」をクリックして下さい。必要に応じて内容を更新し、「更新」ボタンをクリックして下さい。

Q&A

● 活動量の入力

Q：施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除したい。

A：トップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より、施設分類別の活動量入力項目を新規登録、削除することができます。

Q：活動量入力項目を、施設ごとに設定することは可能か。

A：施設分類別にご設定（「マスタ設定」>「規定の入力項目を設定する」）いただいた後、施設の設定（「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」）から、施設ごとに不要な入力項目を「未使用」としてご設定いただけます。

Q：電力会社のメニュー名が複数あるが、どの項目を選択すればよいのかわからない。

A：電力会社のメニュー名については、貴団体にて電力会社との契約内容をご確認ください。

Q：活動量データ（月次実績）の入力を行いたい、画面に「該当データが存在しない」と表示される

A：活動量データを登録するためには事前に活動項目を施設分類毎に登録する必要があります。活動項目の登録は事務局権限のユーザでトップページから「マスタ設定」>「既定の入力項目を設定する」より登録できます。

Q&A

● 活動量の入力（続）

Q：実績値を一括登録したいが、各施設のデータを1ファイルに集約しなくては行けないか。

A：活動量データを登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、お手数をおかけし恐縮ですが、各施設からのファイルを1ファイルにご集約ください。

Q：かんたん算定シートや一括機能実装前の環境省指定のデータ取り込み様式でLAPSS上に実績値を一括登録することは可能か。

A：活動量データを一括登録する際には、必ずLAPSSの画面からダウンロードいただいたファイルをご利用いただく必要があるため、データを加工していただく必要がございます。
なお、2025年3月より、実績値一括登録ツールの記入において、Excelの数式が利用可能となっておりますので、ご活用いただけますと幸いです。

Q：入力したデータについて、入力ミスがないか確認したいが、データの出力方法はあるか。

A：入力したデータについては、Excel形式での出力が可能です。また過去分の入力データについても、遡って修正を実施することが可能です。

Q&A

● 集計結果の分析・出力

Q：集計結果のグラフや表をそのままコピーして報告書などに貼り付けることは可能か。

A：表の出力形式はcsv形式ですが、「団体内の排出量を集計する（月次／年度別）」ページで表示されるグラフや表の上で右クリックし、「名前をつけて画像を保存」を選択するとpng形式で保存することができます。

Q：施設を登録したが、その施設が廃止された場合の操作方法是。

A：「マスタ設定」>「施設・設備を設定する」から廃止したい施設をご選択いただき、画面右側の「設定・編集ボタン」>「変更」を選択すると開く「施設情報 変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度欄をご記入ください。

Q：年度途中で施設が移管され、施設情報から施設所管課室の情報を変更した場合、集計等に影響する可能性はあるか。

A：施設のマスタ設定で施設管理課室を変更すると、過去の排出量分も含めて移管先部署の排出として記録されます。過去排出分は移管前部署の排出として管理されたい場合には、該当施設をLAPSS上で廃止登録（「施設情報 変更・削除」ページの「制度対象期間」の廃止年度を追加）し、移管後の施設は移管先部署が所管する新施設としてご登録ください。

Q：他団体の情報を確認できるとのことだが、自団体で各施設ごとに公開範囲を定めることはできるか。

A：LAPSSは団体の取組のノウハウ共有のためにも活用していただきたいと考えているため、現状では公開範囲を制限する機能は設けておりません。

Q&A

● その他

Q：団体内掲示板はファイル添付は可能か。可能な場合、添付可能な最大データサイズは。

A：可能です。ファイル数は5件まで、合計10MBまで添付いただくことが可能です。

Q：実際の利用開始が登録年度の翌年になっても問題ないか。

A：作業負荷軽減の観点からも登録後できるだけ早く利用を開始していただくことが望ましいですが、利用開始が遅れることで再登録申請や機能制限等の問題が発生することはありません。

Q：施設管理部局へ説明する際に利用できる資料はあるか。

A：環境省のウェブサイトにて、LAPSS操作勉強会の録画・資料を掲載しております。また、LAPSSログイン画面の「LAPSS上の操作でお困りの方はこちら」からユーザーズガイドを閲覧いただけます。LAPSS専用の問い合わせ窓口も設置しております。

マニュアル・支援ツール等の一覧

● マニュアル類

ユーザーズガイドで基本的な機能を確認し、より詳細を知りたい場合にはシステム操作手順書をご参照いただけますと幸いです。

→https://www.lapss.env.go.jp/lapss_test/help/help.html

- ユーザーズガイド：事務局・施設管理部局向けをそれぞれご用意しております。
- システム操作手順書：より詳細に操作や機能を確認したい際にご利用ください。

● 動画での操作説明

支援サイトでLAPSSの操作デモ動画を公開しております。

- 支援サイト（操作勉強会）：主要な機能の操作デモの録画を公開しております。

→https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

● 問い合わせ窓口

LAPSSの操作についてご不明な点がございましたら、お問い合わせ窓口をご利用ください。

- 【お問い合わせ窓口（ミツイワサポートサービスセンター）】
 - ・ 電話番号：050-3354-6686
 - ・ メールアドレス：lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

● 庁内等での説明資料

支援サイト上で、LAPSS説明会の資料を公開しております。

LAPSSの基本機能に加えて導入団体の声や成果についても紹介しておりますので、ぜひご活用ください。

→https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/shien4.html

ご参加ありがとうございました